

YARWAY



製品を使用する前には必ずこの取扱説明書をお読みください。誤った取扱い(保管、設置、操作、保守、分解時)により重大な事故を招いたり、大きな損害を生じたりすることがありますので、本書の注意事項を守って正しく使用してください。なお、この取扱説明書は発注者、施工業者、配管設計者、使用者、操作担当者、保守担当者に確実にお渡しください。また、この取扱説明書は、いつでも見ることのできる場所に保管してください。

記載の意匠や仕様は、予告なしに変更されることがあります。

この取扱説明書の内容について万一ご不審な点やお気づきの点などがありましたら、弊社までご連絡願います。

## 目 次

頁

1. 安全上の注意 .....	1
2. 仕様 .....	2
3. 構造・材質 .....	2
4. 配管 .....	2
5. 取付け .....	2
6. 操作・使用上の注意 .....	3
7. 保守・点検 .....	3
8. 不具合の原因と対策 .....	3
9. 分解・掃除・組立て .....	4
10. 保証 .....	4

## お問合せ

〒651-2241

兵庫県神戸市西区室谷1-5-1

日本フイツシャ株式会社

プレッシャー・マネジメント事業部

TEL:078-990-2015

FAX:078-386-2470

## 1. 安全上の注意

「安全にご使用していただくために」本書は使用者または他の人々の安全および製品の破損防止、安全に関する注意事項を程度に応じて、本文中に『警告』および『注意』の表記をしています。ご使用される前に、下記表記に記載されている事項をよくお読みください。



**警告：**

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



**注意：**

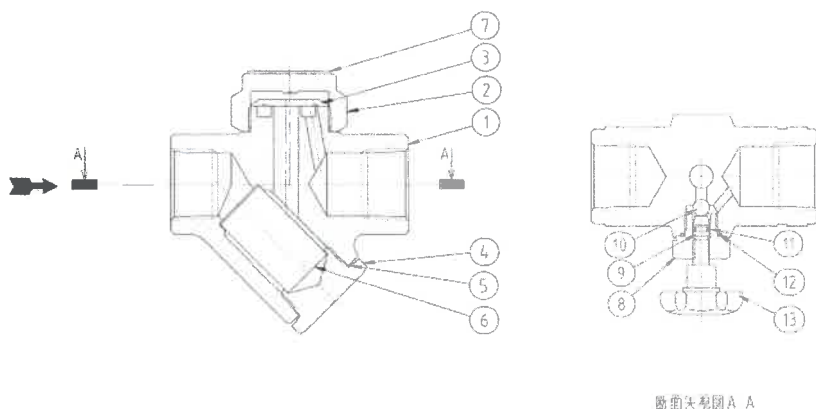
取扱いを誤った時に、人が障害を負う危険が想定される、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

## 取扱説明書 シリーズ 129YB

### 2. 仕様

型番	: 129YB
サイズ	: 15~25mm(1/2"-1")
適用圧力	: 0.03MPa~1.0MPa
最高使用圧力	: 1.0MPa
最高使用温度	: 185℃
背圧許容度	: 50%
接続	: Rc, フランジ
取付け姿勢	: 水平、垂直

### 3. 構造・材質



断面矢視図 A-A

※ハンドル⑬の操作方法については、6. 操作・使用上の注意をご参照ください。

### 4. 配管

1. トラップ前後の配管はトラップサイズと同じか、一回り大きなサイズにしてください。
2. トラップ2次側が長い配管の場合は、ドレンとフラッシュスチームを同時に処理できるように、大きなサイズにする必要があります。もし、いくつかのトラップが共通の回収管に排出する場合は、過度の背圧を防ぐため、充分なサイズの回収管にしなければなりません。
3. スチームトラップより上部の回収管へドレンを排出する場合は、停止時の逆流を防ぐため、逆止弁を設置してください。

### 5. 取付け

1. トラップを取付ける前には配管をブローして、ゴミ・スケール・金属片などを完全に取除いてください。特に新しい配管の場合は充分なブローを実施してください。
2. トラップヘッドレンが自然に流入しやすいように、できるだけ低い位置に取付けてください。トラップ前に立ち上がりがないようご注意ください。
3. トラップがドレンを排出する機器より上に取付けられる場合は、トラップ前の立上りの底部にU字管又はリフト・フィッティングを設けてください。
4. トラップは水平配管でも垂直(上から下)配管でも作動しますが、ボンネットを上にして水平に取付けた方が分解、点検が容易です。この時、ボディ上に表示された矢印が流れの方向と一致するようにしてください。
5. 凍結が起こりやすいところでは、トラップ内にドレンが滞留しないよう配管を下方に傾斜させるなどの配慮をしてください。

### パーツリスト

No.	部分名	材質
1	ボディ	ステンレス (要部熱処理)
2	ボンネット	ステンレス
3	ディスク	ステンレス (熱処理)
4	スクリーンキャップ	炭素鋼
5	ガスケット	ステンレス
6	スクリーン	ステンレス (20 メッシュ相当)
7	ネームプレート	ステンレス
8*	バルブボンネット	ステンレス
9*	バルブステム	ステンレス
10*	ボール	ステンレス (熱処理)
11*	O リング	FKM
12*	O リング	FKM
13*	ハンドル	エンジニアリングブ ラスチック

\*バイパスバルブ部品セットとして販売します。

### 注意

1. 出口接続部は人が直接触れられないようにしてください。高温ドレンの排出によって、火傷、ケガなどの危険があります。
2. 接続ねじ部を締付けすぎないようにしてください。

### 締付けトルク表

サイズ (mm)	ボンネット		スクリーンキャップ	
	HEX (mm)	トルク値 (N・m)	HEX (mm)	トルク値 (N・m)
15~25	46	98~108	38	183~202

### 注意

規定のトルク値以上の力で締付けないでください。「締付けトルク表」を参照の上、締付けてください。



#### 注意

1. 無理なハンドルの操作はしないでください。
2. 製品を正しく設置し、最高使用圧力、温度など仕様範囲以外での使用は絶対にしないでください。製品の破損、異常作動等により重大な事故を起こす恐れがあります。
3. ウォーターハンマーの衝撃が加わらないようにしてください。
4. 背圧許容範囲内にてご使用ください。



#### 警告

トラップ本体の表面は高温の為、触れると火傷をします。充分冷えてから革手袋をつけて作業してください。製品の分解、取外しは、製品内部の圧力が大気圧になってから、また、表面温度が常温になってから行ってください。製品に圧力、温度が加わっている場合は、流体が吹き出し火傷、ケガをする恐れがあります。また、ねじ部に焼き付きを起こすことがあります。

#### 6. 操作・使用上の注意

129YB はバイパス機能を内蔵したスチームトラップです。バイパス機能は主に起動時に発生する多量のドレンを迅速に排出するために使います。

ハンドル⑬を反時計方向に回してバルブを全開にすると、スチームトラップ内にバイパス回路が形成され、多量の空気及びドレンが迅速に排出されます。  
ハンドル⑬を時計方向に回してバルブを全閉にすると、ディスク型スチームトラップとして機能します。

#### 7. 保守・点検

1. トラップの寿命を長く保ち、最良の作動条件を得るために、スクリーンを適切に掃除してください。
2. 次の方法により正しいトラップの作動を点検してください。
  - ・聴診棒をボンネットのベースに当て、バルブが開閉する際の独特のカチカチという音を聞いてください。
  - ・トラップ後のテスト・バルブを開放し、作動状態を確認してください。
3. 作動状況で不具合が生じた場合は、「8.不具合の原因と対策」にしたがってメンテナンスを行ってください。
4. 少なくとも年1回以上の定期点検を行ってください。
5. 定期点検のために予備部品(スクリーン、スクリーンキャップ、ガスケット各1個)を用意しておいてください。

#### 8. 不具合の原因と対策

トラップが正常に作動しない場合は、下表のように処置します。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| (1) ディスクの交換、本体交換 | (2) ディスク、シートの掃除     |
| (3) バイパスの閉止、修理   | (4) トラップの選定、サイズの見直し |
| (5) ストレーナーの掃除    | (6) 1 次側、2 次側バルブの開弁 |
| (7) 本体矢印の向きに取付ける |                     |

不具合内容	原因	対策
生蒸気が漏れる	ディスク、シートの摩耗	(1)
	ディスク、シートの汚れ	(1)(2)(5)
	バイパスの吹き出し	(3)
	背圧が許容値を越えている	(4)(6)
ドレンがたまる	トラップの容量が小さく絶えずドレンを排出している	(4)
	1 次側の調節弁または、ストップバルブが閉まっている	(6)
	ストレーナーの目詰まり	(5)
	2 次側のストップバルブまたは、チェッキバルブが閉まっている	(6)
	トラップの流れ方向が逆向きに取付けられている	(7)
	空気障害が起きている	(4)

## 9. 分解・掃除・組立て

### 分解・掃除

1. ボンネット②をねじ戻し、ディスク③を取出します。
2. 取出したディスクおよびトラップ本体のシート部は耐蝕性溶液をつけたウエスできれいに拭き取ります。トラップ内部のゴミや、付着している酸化物は作動不良の原因になりますので、丁寧に拭き取ってください。
3. ディスクが損耗している場合には、新しい部品に交換してください。
4. 作動部分の掃除をしても、作動不良の場合はストレーナー部のスクリーンキャップ④を外し、スクリーン⑥を掃除してください。
5. パルプボンネット⑧をネジ戻し、ボール⑩を取出します。
6. 取出したボールは耐蝕性溶液をつけたウエスできれいに拭き取ります。
7. ボールが磨耗している場合には、新しい部品に交換してください。

### 組立て

1. ボンネット②とシートのシール面がきれいで、ゴミが付着していないことを確認してください。もし、シール面が汚れていたり、損傷している場合、ボンネットとシート部とのシールが不可能になります。
2. ディスク③は溝面を下にしてシートの上に置きます。
3. ボンネット②のねじ部にごく少量のモリコートを塗布し所定のトルクで締付けてください。
4. スクリーンキャップ④およびボディ①の当たり面を掃除し、新しいガスケットをスクリーンキャップの肩に取付けます。
5. スクリーン⑥をスクリーンキャップ内の窪みにはめ込み、本体に所定のトルクで締付けてください。

## 10. 保証

### 1. 保証期間

製品発送後1年間

### 2. 保証範囲

上記保証期間内に弊社の責任により故障を生じた場合は、その製品の交換、または修理を行います。

### 3. 下記の場合は、保証期間でもその責任を負いません。

- ・正しい取付け、取扱い以外による故障、およびお客様の責任による故障
- ・ゴミ、スケール、カーボン、鉄くずなどによる故障
- ・水質異常による本体内部腐食の故障
- ・お客様による分解、点検による故障
- ・天災などの不可抗力による故障
- ・現品が廃棄された場合
- ・その他、弊社の製造責任に帰さない原因(ウォーターハンマーなど)による事故、または故障

### 4. 未使用のまま長期保管の場合は、接続部にキャップをし、本体表面には防錆油などを塗布し、湿気の少ない所に保管してください。

### 5. 免責事項

上記の保証は、当該製品単体の保証を意味し、製品の故障や不具合により起こりうる全ての損害(営業損失、運賃、諸経費など)は、対象に含みません。本取扱説明書の記載事項が遵守されないことにより発生した不適合については、弊社の責任は免除されます。